

## 中筋川ダムが中筋川の水位を下げました

～令和元年台風第10号における中筋川ダムの防災操作～

- 台風第10号により、中筋川ダム上流域では、8月14日2時～15日22時までの累計雨量で249mm、時間最大で36mm(14日22-23時)の降雨となりました。
- この豪雨により、中筋川は下流の磯ノ川地点で、水防団待機水位(3.80m)を超える出水となりました。
- 中筋川ダムでは、事前放流(8月8日14時～14日16時)により、水位を約5.6m低下させ、洪水貯留に使用できる容量を通常(860万m<sup>3</sup>)より100万m<sup>3</sup>多く確保しました。
- 中筋川ダムでは、ダムへの最大流入量(毎秒約60m<sup>3</sup>)の約80%をダムで貯留し、ダム下流への流下量を毎秒約12m<sup>3</sup>に低減し、磯ノ川地点の水位を約51cm低下させました。
- また、横瀬川ダムが完成した場合は、さらに約22cmの水位低減効果が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年8月16日  
国土交通省 四国地方整備局  
中筋川総合開発工事事務所

### 問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所  
電話(0880)66-0142  
副所長 森本 修三 内線(204)  
管理課長 宮崎 泰典 内線(6121)  
◎調査設計課長 弘田 真一 内線(351)

◎主な問い合わせ先

